

どがみかぢ 大田市でみる

大田市ふるさと情報誌

VOL.25

2013.10

築100年越の古民家 念願の田舎暮らし

夢の実現、馬路へ移住

「葺のギャラリー馬路」を開業

大阪市から念願の田舎暮らしを実現した武田明美さん（61）は、昨年8月、初めて大田市を訪れました。

今春、仁摩町馬路にある明治以前建築の築百年を超える古民家を購入。移住に向けて、建物の改修や家具等の修繕など約4カ月にわたる準備を着々と進められ、この8月、離れを利用した「田

舎ツーリズムの宿（島根県の制度）「葺のギャラリー馬路」をオープンしました。

「60歳を目途に田舎暮らしをしたい」と長年想いを馳せていたという武田さん。

幼少期を鹿児島で過ごし、約50年近く大阪で暮らしてきたなかで、年齢を重ねること50代後半頃から、田舎



▲直径50cmを超える立派な梁や内蔵が残る母屋は、大正初期へタイムスリップしたような懐かしさを感じさせ、訪れる人の心を和ませる

暮らしに関する雑誌に目看向くようになり、全国の物件情報を探していたところ、愛読雑誌に昨年の6月に大田市の物件などを一面に大きく掲載した、今回移住した古民家の売却情報を見て、心が動いたといいます。

心を動かし早速行動

早速、武田さんは京都市に住む兄の宇留島美好さん（63）に相談する。

宇留島さんは、書家でフリーランスとして古家具の修理に携わり、自然の物を利用したクラフト作りもされる、頼りになるお兄さんです。

宇留島さん自身、司馬遼太郎の歴史小説で「銀の道」のことを知り、武田さんから相談があったとき、偶然にも興味を惹かれることとなりました。

大阪から高速バスとJRを乗り継ぎ、長女の由香さんと3人で空き家見学に大田市を訪れたのは、夏の盛りでした。



▲葺のギャラリー正門の柱には、お兄さんが京都から持参した杉板に武田さん直筆の施設の名前が刻まれた看板が掲げられている

ちょっと一言

葺（いらか）とは、瓦のこと。武田さんは、島根県西部（石見地方）の石州瓦のイメージが印象的だったことから、「葺のギャラリー馬路」と名付けられました。

市内の空き家3軒を見学して、本命の古民家を見学したのは夕暮れ前になり、この古民家を一生懸命見ていたのは武田さんより、兄の、宇留島さんの方で、実は武田さん親子は、藪蚊に刺され逃げ回り、見学どころではなかったようです。

海岸線の美しさに感動

でも、その時に見た、琴ヶ浜からの海岸線の美しさに感動し、また、忘れられ



▲離れの入口には、直径1mの水瓶が座りお客を迎える。体験宿泊に利用される離れは、6畳（2）と8畳（1）の和室がある

なかつたのが、この古民家と馬路（まじ）という地名に関西人の心をくすぐったそうです。

再度、大田市を訪れたのが、9月のお彼岸でした。町を行き交う子ども連れの親子や高齢者まで、身も知れぬ私たちに対して、あいさつをしてくれるので驚きだったとか。

このとき、武田さんの想いをお兄さんが書いたギャラリ構想を持参され、移住への熱い想いを語られました。

大田市との縁 神様の導き

この古民家は、馬路ではかつて網元が所有していた旧家でした。

宅地300坪には大きな庭と畑90坪。母屋の他に内蔵や納屋があるなど地域の歴史を伝える文化的な建物でもあります。

「この家との出会いがあった」と武田さん。鳥根県は神様の導きがあったのだと言われます。昨年から、宇留島さん



▲田舎暮らしをはじめて5カ月、毎日動きっぱなしという武田さん。60歳を過ぎて新しい挑戦の日々を送る。「田舎は、じっとしてられない」と、笑顔のお二人です。

◀手作りのメニューが飾られ、お好み焼きと焼そばが定番



が定期的に訪れては家の修繕や家具の修理をしながら、武田さんの移住計画を進めてきました。

大阪で十数年お好み焼き屋を経営していた経験を活かし、色々な人が出入りできる交流施設にしたいと、鳥根県の田舎ツーリズムの宿の登録や保健所の許可を取得し、軽食なども提供できる施設となりました。

田舎暮らし 地域と仲良く

田舎暮らしは、地域との繋がりが関係づくりが一番

大切という兄妹です。

武田さんは、「ここは私も楽しめる、皆さんも楽しめる場所になりたい」と体験型民泊施設の計画を実行してきました。

また、移住後、JA石見銀山が主宰する「農援塾(野菜作り教室)」に生徒として参加し、仲間づくりや畑仕事に精を出しています。

今では、まちづくりセンターや地域が主催するイベントや行事に積極的に参加している兄妹を地元では知らない人がいないくらい行動力です。



▶作者の優しさが溢れる、琴ヶ浜で拾った流木などのクラフト作品が数点展示されている

お兄さんの宇留島さんは、妹さんの移住を支援してきましたが、準備で数カ月間滞在するなか、人との出会いや海などの自然の素晴らしさに魅了され、馬路

が大好きになり、自分も移住を決意され、現在、兄妹力を合わせながら、仲良く田舎暮らしを満喫しています。



しまね田舎ツーリズムの宿 「麓のギャラリー馬路」



1日1組限定
お1人様 **6,800円**
小中学生 **5,800円**
(体験料)

【お問い合わせ先】(武田)
☎ 050-5208-2038

定住促進と地域経済の活性化を目的に

H26年1月2日～ H31年1月1日の新築家屋が対象

市独自の新築住宅の課税免除

国の法律で定められた制度

現在、国の制度で新築住宅の固定資産税が、3年間又は5年間、居住部分の120㎡分の固定資産税が1/2に減額されています。

+

大田市独自の制度

国の制度で減額されなかった残り1/2を大田市で独自に免除します。【期間は3年間】

||



**120㎡分にかかる固定資産税
新築後の3年度分は実質「0円」に**

市では、来年1月から5年の間、市内に新築された家屋の固定資産税の一部を免除することにしました。

これはU Iターンを促す定住対策のほかに、住宅需要を喚起し地域経済の活性化につなげる波及効果を狙った市独自の制度です。

課税免除は、申請手続き等が必要です。詳しくは市役所税務課 資産税係（☎0854-83-8025）までお問い合わせください。

U Iターンをお考えの方に必見！

50㎡以上の新築住宅を建てた場合

最大16万円を助成

新築住宅	延べ床面積 50㎡以上 (新築共同住宅は1戸あたり40㎡以上)	区分	補助金額
		50㎡以上80㎡未満	5万円
	80㎡以上120㎡未満	8万円	
	120㎡以上160㎡未満	12万円	
	160㎡以上	16万円	
	共同住宅40㎡以上	4万円	

※【新築住宅要件】玄関、台所、トイレ等を有し、独立して居住できる新築の住宅用家屋

**石州瓦・県産木材を使った場合
さらに最大31万円**を助成

石州瓦	施工面積が50㎡以上の 新增改築・ 屋根替え工事	区分	補助金額
		50㎡以上75㎡未満	4万円
	75㎡以上100㎡未満	6万円	
	100㎡以上125㎡未満	8万円	
	125㎡以上150㎡未満	10万円	
	150㎡以上175㎡未満	12万円	
	175㎡以上200㎡未満	14万円	
	200㎡以上	16万円	
県産木材	島根県、産木材を 10㎡以上使用する 新增改築工事	10㎡以上20㎡未満	5万円
		20㎡以上30㎡未満	10万円
		30㎡以上	15万円

※石州瓦、県産木材の助成は屋根替え、増改築も対象になります

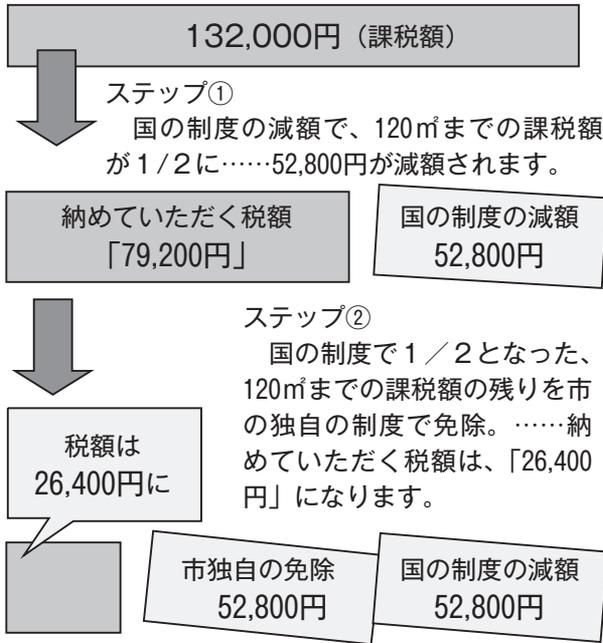
新築住宅の支援制度

石州瓦などの使用で助成加算

新築住宅に対する助成を行っています。
また、石州瓦や島根県産木材を使用した新增改築等に対しての助成も行っています。
※市内業者の施工に限ります



たとえば、150㎡の住宅を建て、課税額が「132,000円」であった場合……



モデルケースで
納税額を試算してみよう……



**住宅の完成時期や
市内事業者の施工など
免除条件があります**

免除対象は以下の要件を全て満たす必要があります。

対象住宅

▽平成26年1月2日～31年1月1日に新築完成したもの
▽居住部分の床面積が50～280㎡の家屋など、地方税法の「新築住宅に対する固定

資産税の減額」対象要件に該当すること

▽市内に本店や営業所等を有する法人、または市内に住所を有する個人事業者が施工した住宅であること

対象者

▽物件の所有者であり、課税を免除する各年度の4月1日現在、市内に住所を有していること（法人は免除対象外）
▽市税などの滞納がない（共有の場合は全員）こと

住宅関連の市の助成制度



UIターンで大田市に定住される方、又は空き家の所有者がUIターン者へ売買・賃貸することで住宅の改修をする場合に、改修費の一部を助成します。

空き家改修事業

	補助額
50万円以上の修繕、模様替え、または設備の改修工事	対象費用の3分の1以内（上限30万円）

補助対象者

- ①定住の意思を持って居住する、空き家を取得し、又は賃貸住宅へ入居をするUIターン者
- ②空き家の所有者、地域自主組織、自治会等、又はNPO法人（上記①に該当する者を入居させる場合に限り）

※工事の着工前の申請が必要です。

※空き家とは「大田市空き家バンク制度」に登録のある建物です。

詳しくは市役所まちづくり推進課 定住交通係（☎0854-83-8029）までお問い合わせください。

建築物をリフォーム等される場合にその経費の一部を助成します。ただし、申請は年度につき1回限りです。市外の方もご利用できます。

住宅リフォーム等促進事業

	補助額
50万円以上の新増築、改修、造園、駐車場及び外構工事	一律5万円

【補助対象外】

- ・下水道、合併浄化槽等接続工事の屋外工事
- ・敷地造成工事のみ、または解体のみの工事費
- ・申請者が施工する場合の人工費
- ・電気器具等の購入、設置費用等
- ・市の他の補助制度の対象となったもの

補助対象者

〈新築住宅・リフォーム共通〉

- ①大田市内に本店、または本拠のある事業者の施工により、市内で工事を実施されるかた
 - ②大田市税等を滞納していないかた
- ※必ず着工前の申請が必要です。

新築住宅・リフォームについてのお問い合わせは、市役所産業企画課 商工振興係（☎0854-83-8075）まで



大田市で頑張る若者

次世代を担う若い力

大田市では若者の市外流出が人口減少の一因となっていました。近年、若者のUターン者も増加傾向にあります。その中で大田市にUターン後、頑張っている三人の若い力を紹介します。

パン屋を経営する竹下美紀さん(33)、お米の生産をしている藤原章子さん(40)、そして今年、大学を卒業後、実家の酒蔵に入社し、蔵人、営業として働いている浅野理可さん(23)の三人の方に対談していただきました。



▲左から、「藤原さん」「竹下さん」「浅野さん」



▲商品の紹介をする藤原さんと浮布米の新パッケージに興味津々の2人

Uターンの理由

浅野 お酒の香り等が好きで、お酒の勉強がたくたくて東京の大学へ進学しました。なので、高校の時に将来は後を継ぐと決めました。ただ会社を継ぐのではなく、将来は杜氏としてお酒造りに携わりたいと思っています。まだまだ男社会なので、それが会社としての話題にも思っています。

竹下 なかなか高校で将来のことまで決められないから凄いな。
浅野 いつ頃パン屋になろうと決められたのですか？



▲ドルチェ・ピータの店内。パンの香りと竹下さんが温かく迎えてくれる

竹下 大学卒業後は広島でパンとは関係のない会社でOLをしていただけ、楽しくなくて。このままOLを続けることに疑問を感じて「そうだ！パン屋になろう」と思ったの。東京で夜間の製パン学校に通ってパン屋になりました。

藤原 凄い行動力！私も最初からこの仕事をしてた訳ではないです。当時、還暦を迎えたばかりの父が企業参入で農業をしようと言いだしたんです。

浅野 お父さん凄い！

藤原 経理を手伝っていたのですが、父が病気をして営業ができなくなると、代わりに私が営業するしか無いと思い始めました。そこで出会った人との関係がとっても楽しくて、父が元気になった後も積極的に手伝っています。

ファーム浮布(株)

大田市三瓶町池田155

☎0854-8312588

三瓶の浮布池の水を利用し、お米を生産している。お米を用いた加工食品の製造、販売にも力を入れる。写真の米粉はドルチェ・ピータの米粉パンにも使用されており、「ファーム浮布の米粉は粒子が細かくても使いやすい」と竹下さんも絶賛。

浮布米は「おおだブランド」認証商品。



ドルチェ・ピータ

大田市大田町大田イ307・4

(大田商工会議所近く)

☎0854-8217220

営業時間 10時～18時
定休日 水・木曜日

パンの製造、販売を行っている。一つ一つ竹下さんの手作り。商品ごとに付けられた手書きのポップにも胸が踊る。

写真中央のアップルパイは今秋イチオシで、サクサクの生地の中に、大きめにカットしたリンゴがどっさり入った、贅沢な一品。



す。また、この仕事をするこ
で地元三瓶のコシヒカリが本
当によいものだと実感してい

大田市の魅力

竹下 大田市はリピーターが多い
気がする。毎日来てくれるお
客さんも沢山いて、中には店内
で食べて行かれる人も。そうい
つたお客さんが話しかけてくれ
て、それがとても嬉しいんです。

浅野 私も東京から大田市へ帰っ
てきて、人と人との関わりが濃
いということに改めて感じまし
た。大田市の人は初めて会った
人でも誰かの知り合いであつた
りして、気さくに話しかけてく
れる。それが田舎ならではの魅
力だと思ふ。

竹下 お互い挨拶するのが当然の
環境って、実は凄くと思う。子
どもも凄く挨拶してくれる。

藤原 今、竹下さんと取引をして
いるのも、竹下さんを知った知
人からパンを作れる人が帰って
きたという話を聞いたから。人
との繋がりは大変なんじゃない
かな。

竹下 私が店を出す時にも、周り
が凄く世話を焼いてくれた。自
分では何もしていないのに周り
がお膳立てしてくれて、大田に



▲三瓶山の麓で生産される浮布米は、三瓶の近くの浮布池の水を利用して作られている

はそういう色々してあげたいと
思っている人が多いのが魅力だ
と思ふ。

藤原 旬のものが回りにあること
も大田の良さだと思ふ。今は
スーパーでいつでも何でも手
に入るけれど、地元で採れた旬
ものを食べられる環境というの
は贅沢だと思ふ。

これからの将来像

藤原 竹下さんは、米粉以外に大
田のものを使っているの？

竹下 意識しなくてもほとんど大
田のものを使ってるんです。大
田にある店だから買ってくれる
のは大半が大田の人。だから、
大田の人が食べたくなるような
商品を作って大田の人にPRし
ていきたいな。

藤原 私はこれからお酒やお酢

みたいにか加工品を作って、
もつと三瓶のことを知ってもら
いたい。ところで、三瓶のコシヒ
カリでお酒は造れるんですか？

浅野 普通、日本酒は酒米を使う
のですが、今、コシヒカリを
使って日本酒を造っているとこ
ろもあるんです。酒米を用いる
よりもクセがありますが、ファ
ンも沢山います。ちょうど、社
長にコシヒカリを使ってお酒を
造りたいという話しをしていた
ところだったんです。これか
ら、女性はきれいなお酒が好き
という先入観にとられずにあ
えてこようといった雑味のあるお酒
も勧めていきたい。ファーム浮
布さんのお米でいつか必ず、お
酒を造りたいです。

藤原 是非お願いしたいです。
竹下 これが本当に実現したら凄
いよね。



▶明治二九年創業。木造の店内には、ふんわりとあたたかな灯りの中、お酒が並んでいる

一宮酒造(有)

大田市大田町大田ハ271・2
☎0854-8210057

日本酒の製造、販売を行う。幻の酒米「改良八反流」を用いた「石見銀山」やベルギーの優秀味覚賞を受賞した「雪香」など、品揃え多数。

写真は右が「薔薇姫」、左が「雪香」。
「これらのお酒から日本酒のファンを増やしていきたい」と浅野さんは語る。共に「おだブランド」の認証商品でもある。



今回の対談に使わせて頂いたお店

Café gallery bar (Po)

大田市大田町大田ハ165・1
☎0854-8317071



診療所を改装した店内は、レトロで落ち着いた雰囲気。小物の販売やライブなどのイベントも行っている。

ゆるキャラグランプリ2013開催

『らとちゃん』応援してください!!

大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」がエントリーしています。昨年度は初出場で105位(865キャラ中)と健闘しました。

今年も、皆さんに応援いただき上位入賞を目指し頑張りますので、ご支援をお願いします。

1メールアドレスにつき1日1回毎日投票出来ますので、ぜひ日課に!! ネット上でつぶやいたり、ゆるキャラグランプリのホームページに投稿したり、わたしたちの「らとちゃん」を応援して皆で楽しみましょう。

投票は11月8日まで

○パソコン、スマートフォンでご投票の方は、投票前にパスワード設定(要メールアドレス)が必要です。

○詳細は「ゆるキャラグランプリ2013」で検索頂き、ゆるキャラグランプリ2013のホームページをご覧ください。



大田市観光キャンペーン

『石見銀山ウオーキングミュージアム』 “世界遺産登録から6周年”

「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録5周年事業の取組みを継続し、市内の観光関連産業の発展を目的として、7月20日から12月1日をキャンペーン期間として行います。

石見銀山エリア 定時無料ガイドツアー

『大森の町並み、坑道跡までをガイドと共に巡り歩く無料定時ガイドツアー』

実施日：12月28日までの毎日

①龍源寺間歩コース

②町並みコース いずれも10時～13時～

料金：無料(施設入場料別)

申込み：当日、石見銀山ガイドの会事務所前集合
(事前予約は要りません)

問合せ：石見銀山ガイドの会 ☎0854-89-0120

ゆのつ・まち巡り

『北前船の寄港地、石見銀山積出港として賑わった、レトロな町並みを巡るガイドツアー』

実施日：11月末までの毎週日曜日 9時～
所要時間120分

料金：無料(バス代140円要)

申込み：当日、温泉津ゆう・ゆう館前集合
(事前予約は要りません)

問合せ：石見銀山ガイドの会 ☎0854-89-0120

仙ノ山ウオークトリップ

『石見銀山本体である仙ノ山を登り、銀山の歴史を辿るガイドツアー』

実施日：11月末までの毎週日曜日
8時45分～所要時間240分

料金：800円(施設入場料別)

申込み：(事前)電話申込
(当日)世界遺産センター駐車場で受付

問合せ：石見銀山ガイドの会 ☎0854-89-0120

温泉津温泉夜神楽週末公演

『温泉津で毎週土曜日“夜神楽”が楽しめます』

場所：龍御前神社

実施日：平成26年3月までの毎週土曜日
20時～21時

料金：500円(中学生以下は無料)

申込み：当日受付(事前予約は要りません)

問合せ：温泉津温泉旅館組合 ☎0855-65-2515

シリーズ石見銀山⑫ 町並み保存地区を歩く ～歴史を物語る寺社建造物の継承へむけて～

今年の夏は連日の猛暑となりましたが、みなさん避暑対策を工夫して町並み散策を楽しまれています。中でも緑豊かな木陰をつくる寺社は、その歴史性と合わせ多くの人々を引きつけているようです。

銀山の祈願寺や地域の氏神、大名や代官にまつわる寺社など、現在では跡地として伝えられる寺院もありますが、『銀山旧記』には「家数2万6千軒余、寺百か寺程も有之候由申伝ふ」とあり、またその人口は最盛期に20万人とも伝えられ、石見銀山にはかつてのシルバーラッシュの隆盛を背景に建設され、信仰を集めた多くの寺社が存在します（写真①）。



写真① 寺院跡へ続く石段（銀山地区）



写真② 清掃活動の様子（豊栄神社）



写真③ 保存修理の様子（城上神社）

寺社では中央部分が擦り減った石段や風化した柱や床、彩色を尽くした荘厳な天井、様々な表情の石像物などがみられ、これらは銀山の来歴や人々の暮らしに関わる信仰の様相を今に伝える地域の宝として大切に維持されてきました（写真②）。

しかし、近年ではこれら多くの寺社を支える担い手の減少や、老朽化した建造物等の修理費用の捻出など、寺社の存続と維持管理について課題を抱えるところも少なくありません。教育委員会では、平成23年度にこれら寺社建造物の破損状況の確認や修理の方針、維持管理の方策を考えることを目的として調査を行いました。また、寺社建造物の修理費用については、石見銀山遺跡の保全と活用を支援するために創設した「石見銀山基金」の活用がスタートし、今年度より保存修理工事への助成が始まっています（写真③）。

今後も石見銀山の歴史を物語る生きた資産である寺社建造物を先人たちの知恵や技術、工夫をふまえながら修理を行い、みんなでより良い状態として後世に伝えていく取り組みを進めていきます。

【問】 大田市役所石見銀山課 ☎0854-83-8133



←携帯電話のバーコードリーダーの機能で、こちらのQRコードを読み込んでいただくと、「らとちゃん」の投票ページに直接つながります。

らとちゃん劇場②



さんべ志学の雪あかり

期日 2月中旬

会場 三瓶温泉街周辺

心あたたまるやさしい光が湯のまち志学をつつみます。

小さなかわいい“かまくら”にキャンドルの明かりが灯る「雪あかり」。きらめく無数の灯火があなたを幻想の世界にいざないます。

【問】さんべ志学の雪あかり実行委員会

(事務局：志学まちづくりセンター ☎0854-83-2167)



御日待祭り

期日 2月14日(金)

会場 厳島神社（温泉津町小浜）
夜通し火をたき、「寝たら起こせ王子や王子、五朗の王子」と叫びながら町を練り歩きます。神社では拝殿に上がり、「王子や王子、ゴーロさんの王子」と叫びながら座板が割れるまで飛び跳ねます。

【問】大田市役所温泉津支所

☎0855-65-3111

やっぱり おおだ！ 大田市空き家情報

空き家物件を

追加しました！

(平成25年9月24日現在)

	賃売区分	所在地		特記
		構造		
	金額	住宅面積	敷地面積	
	売 買	川合町		敷地に生い茂った草木の撤去及び旧住宅を撤去すれば広々とした日当たりの良い物件となります。山水が枯渇しているため公共水道の引き込みが必要です。内部家財も購入者負担で処分をお願いします。
		木造瓦葺き平屋建		
	190万	97.04㎡	429.75㎡	
	賃 貸	川合町		山間部に位置する古民家住宅で周りを山に囲まれたUターン者用の賃貸住宅です。都会の喧騒から逃れたい方にはうってつけです。田畑（休耕地）もあり無料で借りる事ができ、雑草を除去すれば耕作は可能です。
		木造瓦葺き平屋建		
	2.0万	195.66㎡	605.00㎡	
	売 買	久手町		平成10年築の小家族向けの数寄屋風の和風建築住宅です。内部造作には高級木材が使用してあり落ち着いた雰囲気仕上がりになっています。石垣、庭園には四国産の石を使ってあり植栽もよく手入れがしてあります。和風建築にこだわりを持っている人にお勧めの物件です。
		木造瓦葺き平屋建		
	2,200万円	126.16㎡	400.76㎡	
	賃 貸	山口町		三瓶山麓に位置する二階部分が住居になっているこじんまりとしたUターン者用の賃貸住宅です。賃貸契約後、所有者負担でシステムバス設置、脱衣場、キッチン、トイレの改修工事をするため約2週間後の入居になります。
		木造瓦葺き2階建		
	3.0万	54.52㎡	119㎡	

Uターン、Iターンなど定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは『おおだ定住支援センター』までお願いします。空き家物件の現地案内もいたします。（※物件所有者との調節が必要ですので、必ず事前にご連絡をお願いします。）

今回掲載されていない物件もありますので、詳しくはお問い合わせください。

空き家情報は“おおだ”定住サイト『どがどが』でご覧いただくことができます。

どがどが 検索

大田市内にまだまだ使える空き家を所有してはいませんか？「空き家」を活用することは、家を適切に管理することであるとともに、定住人口の増加や地域の活性化へとつながります。

皆さんの大切な資産である「空き家」を有効活用されませんか？

ご相談・お問い合わせは『おおだ定住支援センター』〈大田市役所まちづくり推進課内〉（☎0854-83-8029）

ふるさととは今

矢滝城山【祖式町】



▲矢滝城山からのパノラマ風景



▲矢滝城山

矢滝城山は 東京スカイツリーと 同じ 634m！

スカイツリーからの眺めも

矢滝城山からの眺めもどちらも最高です！

矢滝城山は、祖式町と温泉津町（西田）の境界に位置する、標高634mの山です。

山頂に立つと、快晴の日は島根半島まで見渡せる海岸線、そして、矢滝城主郭跡から北東に山吹城（412m）、さらに東には、多くの銀が産出されたという仙ノ山（538m）、北西には矢筈城（480m）や城上山（411m）及び馬路高山（499m）など石見銀山遺跡などが一望できます。

1528年大内義隆によって築城されたといわれる矢滝城は、戦国時代に石見銀山の支配権をめぐる激しい争奪戦の舞台となり、石見銀山の守城として重要な拠点でした。

祖式の里には、銀山を目指した武将たちの足跡が数多く刻まれています。矢滝城山に立てば、戦国の武将達の熱い思いが偲べれます。

矢滝城山への行き方

JR大田市駅から車で約30分。JR湯里駅から車で約15分。県道201号の矢滝トンネル東出口（矢滝城の南）に登山口があります。登山口から山頂まで約1時間40分で往復できます。

詳しくは、祖式まちづくりセンター（☎0854-85-2362）まで

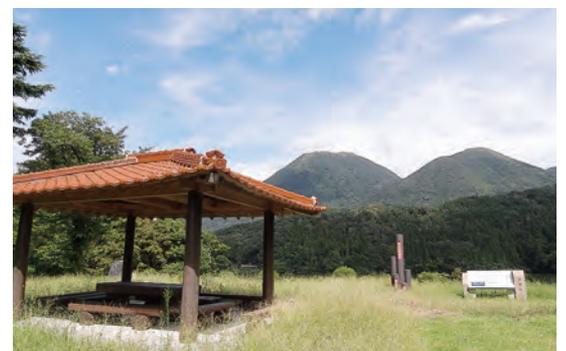
表紙 あの時～三瓶グリーンランドの風景（三瓶町）～

表紙は、三瓶グリーンランドの写真です。この写真を撮影された和田爲夫さん（72歳）にお話を聞かせていただきました。

三瓶グリーンランドは、1950年頃に石見交通などによって浮布池周辺につくられ、県内では珍しいレジャー施設でした。グリーンランドの周辺には、バンガローやお土産屋などがあり、家族連れで賑わいをみせていました。表紙に写っている回転ブランコには、20～30分ぐらいの順番待ちの列ができていたそうです。

当時の三瓶山はレジャースポットとして有名で休日には広島県など、県外からも三瓶山に訪れ、自然を満喫していました。冬にはスキー、それ以外の季節には浮布池や西の原、グリーンランドで遊び、四季を通して三瓶山は観光地として賑わいをみせていたそうです。しかし、その後三瓶グリーンランドはレジャーの多様化などの影響で観光客が減少し閉鎖されてしまいました。

現在、三瓶グリーンランドの跡地周辺には、休憩所としてあずま屋が建てられ、三瓶山と浮布池を眺めることができます。



▲三瓶グリーンランド跡地周辺からの眺め

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL：0854-83-8029 FAX：0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail：o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索